

研究内容の説明文

説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	気象条件と住宅の温熱性能が健康維持増進に与える影響に関する血液データを用いた分析 (健康づくりのための住環境整備に資する温熱環境と献血者データの分析)
研究期間	2024 年 4 月～2026 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所
研究責任者職氏名	研究企画課長 荒木威

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

住生活において、平均の在宅時間は年代や働き方にもよりますが、約 13 時間から約 20 時間にもなるといわれています。また、気象条件や住宅性能は食を含めて健康に影響しているといわれています。

外気条件及び住宅性能・省エネルギー住宅の普及率等から推定される室内の環境と健康な人の血液成分についての分析を合わせて実施できれば、予防・健康づくりのための住環境整備に役立つエビデンスとなります。

本研究では住環境と生活習慣病の関係に関する情報の収集・整理、予防・健康づくりのための住環境ガイドライン作成の基礎資料とするために、献血者の血液検査情報等を使用して、性別、年代別、地域別、季節別の特徴や室内環境との関連を分析し、健康寿命の延命・健康格差の縮小を目指した施策の中の健康になれる環境づくりに資する基礎資料とします。

本研究は、予防・健康づくりのための住環境整備のための研究（厚労科学研究費）の一環として行います。

2 使用する献血者の試料と情報の項目

献血者の試料の種類：該当なし

献血者の情報：献血年月日（2013, 2018, 2023 年採血分）、採血開始時間（午前/午後）、年齢（献血時）、性別、生化学検査値（ALT（アラニンアミノトランスフェラーゼ）、 γ -GTP（ガンマグルタミルトランスペプチダーゼ）、TP（総タンパク）、ALB（アルブミン）、CHOL（トータルコレステロール）、GA（グリコアルブミン）、A/G（アルブミングロブリン比）、血球計数値（WBC（白血球数）、RBC（赤血球数）、PLT（血小板数）、Hb（ヘモグロビン値）、Ht（ヘマトクリット値）、MCV（平均赤血球容積）、血圧、居住都道府県居住市区郡町村、身長、体重、睡眠時間、職業（公務員、会社員、高校生、大学生、その他学生、主婦、自営業、その他）、採血場所都道府県市区郡町村

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液等を使用する共同研究機関》

国立保健医療科学院 開原 典子

《献血血液等を使用しない共同研究機関》

該当なし

4 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日

2024 年 6 月 25 日

5 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

2013 年、2018 年、2023 年に初めて献血をした方の情報を使用して、国立保健医療科学院にて以下の解析を実施します。

ALT や γ -GTP などの生化学検査結果や白血球数や赤血球数等の血球計数検査結果、また睡眠時間や血圧等の項目ごとに、性別、年代、地域、季節の特徴を分析し、気象庁データ等の外気条件及び住宅性能・省エネルギー住宅の普及率等から推定される室内の環境推定する室内環境情報との統計解析を行います。

なお、使用する情報については、個人には完全に戻れない状態にして、解析に使用します。

6 研究の対象とされることへの拒否について

本研究への情報等の研究使用について拒否される場合は、2024 年〇月末までにご連絡ください。

7 上記 6 を受け付ける方法

下記の連絡先に本研究への情報使用を拒否する旨及び採血年、献血者コード（献血カードの氏名の上の 10 桁の数字）について、ご連絡をお願いいたします。

所属	血液事業本部 中央血液研究所 研究企画部
担当者	荒木威
電話	03-5534-7500
Mail	t-araki@jrc.or.jp